

## 校内別室での教室復帰に向けた支援について

### 不登校生徒の状況

対象生徒は、小学校4年生から不登校であり、現在は中学校1年生である。入学後は2週間程度登校できなかったが、放課後に校内別室の見学を実施することができた。教室復帰を目指していると確認でき、その後は校内別室に毎日登校できるようになり、オンライン授業や自主学習に対しても熱心に取り組むようになった。

### 具体的な取組

#### ○行事の参加への支援

体育祭は、生徒席から離れたところから見学することで、自分のクラスの応援を行うことができた。

合唱コンクールは、全体の動きに対して時間差で会場に入ることで、生徒席から鑑賞することができた。

始業式や終業式、集会等は体育館後方から支援員と参加することができた。

#### ○運動の実施

卓球や、体力テスト等の活動を実施した。他の利用生徒と交流を図ることができた。



#### ○他者と関わる機会の設定

昼休み等に、教員や支援員が働きかけ、カードゲーム等を活用し、校内別室を利用する生徒と関わりをもたせ、生徒同士のコミュニケーションを充実させた。生徒同士が日常的に関わりをもてるようになった。

#### ○授業に関する取組

事前に支援員が授業のプリントを教科担当から預かり、教科書とプリントを使って校内別室からオンライン授業を受けることができた。

教科担任の先生と連携し、美術や家庭科の作品を校内別室で作成し、提出することができた。

### 成果

校内別室の活用により登校日数が増加した。軽い運動等身体を動かすことを通して、他の利用生徒と関わることで、明るく過ごす様子が見られるようになった。個別に支援を行うことで、学習に取り組むことが増えた。

### 課題

当該生徒の思いを大切にしながら、在籍学級との関わりが増えるよう支援を工夫していく。他者との関わることに自信がもてるように、当該生徒への声かけを続けていく。